

# 2019年度 弘前大学教員免許状更新講習 開設講習一覧

- 必修領域は、全教員（教諭、養護教諭、栄養教諭）を対象とする講習です。
- 選択必修領域、選択領域は、「対象職種」が『全教員』、『教諭』、『養護教諭』、『栄養教諭』に分かれる講習があります。ご自身の対象となる講習を受講してください。
- 選択領域の、「教科」、「主な受講対象者」欄は、講習の内容をより明確にお伝えするためのものです。学校種や担当教科が異なっても受講できます。
- 講習料は、講習時間数が6時間の講習は6,000円、12時間の講習は12,000円になります。
- 平成30年度に受講された講習と同一の講習を今年度も受講した場合は、1講習としての取扱いとなるため、免許更新手続きの際に履修時間数が不足することになります。申込みの際には講習名・講習内容を十分ご確認ください。

## 夏季講習

### 【必修領域】 「全ての受講者が受講する領域」

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	受講人数
A01	教育の新動向	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む。）」「子どもの生活の変化をふまえた課題」の4つの事項についての理解を深めることを目指す。	福島 裕敏(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 松本 大(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 桐村 剛文(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 吉中 淳(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 田名場 忍(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 安達 知郎(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 松田 侑子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 中山 忠政(教育研究院人文社会・教育学系社会科学領域 講師) 増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 天海 丈久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 武内 裕明(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 野崎 茉莉(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 小玉 有子(弘前医療福祉大学 保健学部 教授) 平岡 恭一(弘前医療福祉大学 短期大学部 教授)	弘前市	2019年7月27日	6時間	全教員	105人
A02				弘前市	2019年7月27日			105人
A03				青森市	2019年8月9日			270人
A04				十和田市	2019年8月9日			110人
A05				弘前市	2019年8月16日			210人

### 【選択必修領域】 「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	職務経験等	受講人数
B01	教育課程・学校経営	「学習指導要領の改訂の動向等」および「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の事項について、各校種や教科の教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	森本 洋介(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 三上 雅生(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 石戸谷 繁(東北女子大学 教授) 宮崎 充治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年7月28日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	200人

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	職務経験等	受講人数
B02	アクティブ・ラーニング	アクティブラーニングについての理論的な理解を行うとともに、アクティブラーニングの手法をワークショップの形式で体験し、実践的にも理解することを目指す。また、アクティブラーニングの学びをどのように評価するか、従来の学習指導にどのように組み込むかについても学ぶ。	森本 洋介(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年7月28日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	50人
B03	教育課程・学校経営	「学習指導要領の改訂の動向等」および「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の事項について、各校種や教科の教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	森本 洋介(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 三上 雅生(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 石戸谷 繁(東北女子大学 教授) 宮崎 充治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	十和田市	2019年8月8日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	100人
B04	教育相談①	「教育相談」の事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。具体的には、以下の通り。 1) 非行少年の推移と現状、非行少年の理解と対応のための理論の習得を目指す。 2) 非行にいたる児童生徒の理解および対応についての演習を行い、体験的に教育相談の理解や経験を深めることを目指す。	田名場 忍(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	青森市	2019年8月8日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭	特定しない	50人
B05	教育相談②	「教育相談」の事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。具体的には、教育相談に限らず、生徒指導、道徳、総合の時間、学級活動など、さまざまな場面での応用が試みられているアサーショントレーニングについての理解を深めることを目指す。	安達 知郎(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	青森市	2019年8月8日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	50人
B06	キャリア教育の理論と実践	現代の雇用情勢や若者の職業意識を踏まえながら、学校現場で求められている進路指導やキャリア教育のあり方について理解を深める。また、具体的な教育方法や援助についての知識やスキルについても習得することを目指す。	吉中 淳(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 松田 侑子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	青森市	2019年8月8日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	100人
B07	教育相談①	「教育相談」の事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。具体的には、以下の通り。 1) 非行少年の推移と現状、非行少年の理解と対応のための理論の習得を目指す。 2) 非行にいたる児童生徒の理解および対応についての演習を行い、体験的に教育相談の理解や経験を深めることを目指す。	田名場 忍(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年8月17日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭	特定しない	50人
B08	教育相談②	「教育相談」の事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。具体的には、教育相談に限らず、生徒指導、道徳、総合の時間、学級活動など、さまざまな場面での応用が試みられているアサーショントレーニングについての理解を深めることを目指す。	安達 知郎(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年8月17日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	50人
B09	キャリア教育の理論と実践	現代の雇用情勢や若者の職業意識を踏まえながら、学校現場で求められている進路指導やキャリア教育のあり方について理解を深める。また、具体的な教育方法や援助についての知識やスキルについても習得することを目指す。	吉中 淳(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 松田 侑子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年8月17日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	100人
B10	ICTによる英語教育	英語の授業に活用できるICT(情報通信技術)の様々な事例を取り上げ、それを実際の授業に取り入れる方法を具体的に検討する。特に、インターネット上に公開されているリソースやオープンソース・ソフトウェアなど、特殊な機材やライセンス料を必要としないものを中心に取り上げる。	内海 淳(教育研究院人文社会・教育学系人文科学領域 准教授)	弘前市	2019年8月17日	6時間	教諭	小学校・中学校・高等学校英語科教諭	特定しない	30人

【選択領域】 「受講者が任意に選択して受講する領域」

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C04	国語	文学教育のこれから	国語科教育の動向を踏まえながら、これからの文学教育のありかたについて考えていくために必要な知識や技能について学ぶ。また教科書の教材を実際に用いながら、講義・演習を通して理解を深めていく。	鈴木 愛理(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年7月20日	6時間	教諭	小学校教諭・中学校国語科教諭	50人
C11	国語	国語・国文の歴史	教科名「国語」の歴史を辿りながら「国語」「国文」「国語学」「国文学」が明治という時代の環境の中で作られた意味と価値観について考える。また、日本文化について伝統という価値観を常に意識することと価値観についても考えたい。□	吉田 比呂子(教育研究院人文社会・教育学系人文科学領域 教授)	弘前市	2019年7月25日	6時間	教諭	中学校・高等学校国語科教諭	60人
C27	国語	日本近現代文学を通して検閲を考える	日本近現代文学が成立する所与の条件としてあった「検閲」について考える。内務省検閲やGHQ/SCAP検閲の運用や、それらと文学作品との関係について、複数の具体例を示しつつ検討を行う。また、本講習では制度化されない「検閲」にも焦点を当て、文学作品の創造や流通に関わった人々がそれらにいかに対峙したかを考える。	尾崎 名津子(教育研究院人文社会・教育学系人文科学領域 講師)	弘前市	2019年8月3日	6時間	教諭	中学校・高等学校国語科教諭	80人
C30	国語	日本語のなかの漢字	日本語が現在のように出来上がってくるまでには紆余曲折ありました。そのプロセスにおいて、中国からやってきた「漢字」が日本語に与えた影響は甚大です。この講習では、日本語における漢字の位置と意味について、噛んで含めるように丁寧に解説いたします。小学生に漢字を教えることの難しさに悩んでいる先生の参考になるような講習にしたいとおもっています。	山田 史生(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2018年8月4日	6時間	教諭	小学校教諭、中高国語科教諭	200人
C28	社会・地歴・公民・商業	課題解決型学習と経営人材の育成	地域や地域企業が抱える課題に対して、学生たちが自らのアイデアを提案・実行するための方法や教育プログラムについて講義します。またこのような課題解決型学習(PBL)が生徒に対してどのような教育効果や社会人としての能力養成に意義を持つか説明します。これら講義を踏まえて、学校の中でどのような課題解決型学習やインターンシップを構築すべきかグループで討議します。	高島 克史(教育研究院人文社会・教育学系社会科学領域 准教授)	弘前市	2019年8月3日	6時間	教諭	高等学校教諭、商業科教員	30人
C46	社会・地歴・公民・商業	北方からみる(日本)の歴史	教科書で描かれる(日本)史は、政権所在地を中心とした一国的な叙述・構成となっています。ア prioriに単一の(日本)が存在していたかのような印象を与えます。地方の子どもたちにとっては、歴史を身近なものとして考えることができません。本講習では、近年発展が目覚ましい北方史の研究成果を活かした実践を事例に、子どもたちが歴史を身近に感じながら、豊かな歴史像を構築できる教材論・方法論を学ぶことを目的とします。	大谷 伸治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年8月19日	6時間	教諭	小学校教諭、中学校社会科教諭、高校地歴科教諭	40人
C05	算数・数学・情報	算数・数学的活動とその体験	算数的活動・数学的活動の意義を検討し、小学校算数、中学校数学で扱う教材を中心にその背景について学ぶとともに、活動を取り入れた授業のあり方について考えることをねらいとします。特に、問題解決型の授業を想定し比較検討場面の充実に焦点をあてます。	中野 博之(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 田中 義久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	青森市	2019年7月20日	6時間	教諭	小学校教諭・中学校・高等学校数学教諭	50人
C07	算数・数学・情報	考える力を伸ばす図形教材の研究	数学の学習指導において、問題の答えを出して終わりにするのではなく、そこから新たな課題を見出して探求しようとする姿勢が大切である。具体的には、別の解決方法を考えたり、条件を見直すことで問題の構造を明らかにしたり、その条件をかえてみることで発展的に考えたりすることである。こうした活動を通して、考えることの楽しさを味わえる図形教材の研究について考えていく。この際、geogebraという作図ツールを使用する機会を設ける。	田中 義久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 山本 稔(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 准教授)	青森市	2019年7月21日	6時間	教諭	中学校・高等学校数学教諭	20人
C31	算数・数学・情報	透視図法と地図の幾何学	透視図法はルネサンス期のフィレンツェの建築家ブルネレスキによって発明され、アルベルティ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、レオナルド・ダ・ビンチなどの建築家や画家たちによってその基礎づけが成されました。一方、画像の作り方の別の例として地図投影法があります。本講習では透視図法と地図の幾何学について、歴史的な視点と作図演習を交えながら学びます。(定規とコンパスを持参ください)。	榎 真(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 教授)	弘前市	2019年8月4日	6時間	教諭	中学・高等学校数学教諭	50人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C08	理科	思考を導く理科教育	具体的な教材をとおして、理科教育の方法と理論をベースに、児童・生徒を思考させるという観点から講義を展開する。前半では環境教育に関する理論と教材の紹介を行い、演習をおして児童・生徒の思考について考える。後半はそれに引き続くとともに、教科や科目を融合した教材を取り扱い、それについての思考を考える。	佐藤 崇之(教育研究院人文・社会学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	2019年7月21日	6時間	教諭	小学校教諭、中学校・高等学校理科教諭	30人
C09	理科	化学実験(中学校・高等学校)	本講習では中学校理科もしくは高等学校化学(一部物理と生物)で扱われる「光」や「色」に関連した実験を行い、物質の性質を科学的に理解することを目的とする。pHと指示薬の色、炎色反応、めっきなどを予定している。	島田 透(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年7月21日	6時間	教諭	中学校・高等学校理科教諭および特別支援教諭	16人
C15	理科	アクティブ・ラーニングに向けたマイクロスケール実験－粒子分野(化学)の実験を中心に①	次期学習指導要領で導入される「アクティブ・ラーニング」への活用も期待され、特別支援教育でも注目の「マイクロスケール実験」について、その概念と具体的な方法について実験を通して考える。小学校理科の新学期学習指導要領・粒子分野(化学)の中からは6学年「水溶液の性質」と簡単なプログラミング、中学校や高等学校では、電池や電気分解を中心に、実験を通して指導法を考える。	長南 幸安(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	むつ市	2019年7月26日	6時間	教諭	特別支援教諭、小学校教諭、中学校・高等学校理科教諭	30人
C16	理科	ミクロな世界の渦	2016年のノーベル物理学賞の対象となった、凝縮系物理学とトポロジーの密接な関係についてご紹介します。日常生活でもよく見かける渦の現象が、ミクロな世界でも重要な役割を演じることをお話しします。	御領 潤(教育研究院自然科学系機能創成科学領域 教授)	弘前市	2019年7月26日	6時間	教諭	中学校・高等学校理科教諭	10人
C18	理科	アクティブ・ラーニングに向けたマイクロスケール実験－粒子分野(化学)の実験を中心に②	次期学習指導要領で導入される「アクティブ・ラーニング」への活用も期待され、特別支援教育でも注目の「マイクロスケール実験」について、その概念と具体的な方法について実験を通して考える。小学校理科からは「だ液の性質」や簡単なプログラミング教育を、中学校や高等学校では、放射線教育や物質の分離方法や金属陽イオンの分析を中心に、実験を通して指導法を考える。	長南 幸安(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	八戸市	2019年7月29日	6時間	教諭	特別支援教諭、小学校教諭、中学校・高等学校理科教諭	30人
C29	理科	微生物の観察と実験	微生物はふだんわれわれの目には触れないが、生態系や生物の進化において欠かせない存在である。本講習では、微生物を教材として活用することをめざし、身近に存在するさまざまな微生物を顕微鏡で観察しながらその取り扱い法を学ぶ。またそれらを用いて細胞の理解につながる実験を行う。微生物としては乳酸菌、池の細菌、酵母、土壌カビ、アオミドロ(緑藻)、ミドリゾウリムシ(原生動物)などを扱う予定である。	岩井 草介(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	2019年8月3日	6時間	教諭	中学校・高等学校理科教諭	20人
C32	理科	山地河川の動物観察	白神山地の津軽十二湖には、湖沼と河川が連続する水系があり、そこでは水温や水質が段階的に大きく変化します。この実習では、津軽十二湖の複数の河川で環境と水生動物群集の組成を比較し、動物群集の成立要因を環境と関連づけて考察します。水生昆虫類のほか、カイメン類やプランナリア類、甲殻類など多様な動物が見られるため、分類の基礎を身につけることもねらいのひとつです。本講習は理科教員以外も対象としています。	大高 明史(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	西津軽郡深浦町	2019年8月4日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	小・中・高等学校教員	15人
C39	理科	生物の環境適応と進化	地球上に棲息する多様な生物種は新しい遺伝変異の創出と環境からの選択を通じたプロセスにより進化してきた。進化は分子から生態まで広く岐れた生物学を統合的に理解する鍵となる。本講習では、進化を通じて生物多様性が維持される仕組みを利己的遺伝子の考え方を含め、環境適応の見地から概説する。また、ヒトの行動や心理について進化の観点から考える。	杉山 修一(教育研究院自然科学系農学・生命領域 教授)	弘前市	2019年8月11日	6時間	教諭	中学校・高等学校理科教諭	10人
C42	理科	理科を苦手とする教員のための小学校物理実験	小学校理科・物理分野に関する教科書に記載されている実験を実際に行いながら、実験を行う際の留意点・注意点を再確認し、その実験のもつ物理的理解を深める。具体的には、3学年「物と重さ」「磁石の性質」「電気の通り道」、4学年「空気と水の性質」「金属、水、空気と温度」「電気の動き」、5学年「振り子の運動」「電流の動き」、6学年「てこの規則性」「電気の利用」の中から3・4単元を取り上げ、それらに関する内容を取り扱う。	山本 逸郎(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年8月18日	6時間	教諭	小学校教諭	24人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C12	音楽	声楽曲の読譜と表現	「楽譜をどう読むか」によって大きく変化する音楽を、具体的にオペラのスコアを用いた実践例に触れながら考察します。その後、練習曲や教科書に掲載されている楽曲で実習し、受講者の読譜力と表現力の向上を目指します。	杉原 かおり(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年7月26日	6時間	教諭	中学校・高等学校教諭(音楽)	10人
C24	音楽	音楽科の学習指導	「最初のオンガクを探る」をテーマとする。小・中・高音楽科のカリキュラム(創作を基盤とした歌唱、器楽、鑑賞へのアプローチ)について、サウンドスケープとサウンド・エデュケーションをキーワードとして具体的な授業実践例を提示するとともに、新学習指導要領に示された(資質・能力の育成に関する3つの柱)・〈協働〉及びActive Learning、音楽のUniversal Design(インクルーシブ教育も含む)についても考察する。本講習は音楽科教諭以外も対象とする。	今田 匡彦(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年8月3日	6時間	教諭	幼・小・中・高教諭、特別支援教諭	40人
C35	音楽	音楽情報の収集と活用	インターネット上の情報と図書館のレファレンスサービスを利用して最新かつ専門的な、また著作権フリーの音楽資料を収集し、活用する手順を紹介します。まず、PC操作や情報検索の一般的・基礎的な技術を踏まえた上で、画像と音源の編集、楽譜制作などを実習します。西洋音楽だけでなく、邦楽や、世界のさまざまな音楽にも目を向ける予定です。主に中・高教諭対象としますが、小学校教諭も受講可能です。	朝山 奈津子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年8月6日～ 2019年8月7日	12時間	教諭	中学校・高等学校音楽科教諭	20人
C43	音楽	作曲の基礎と音楽教育	実際に作曲をする体験を通して、音を音楽へと構成していくプロセスを学びながら、創造行為における指導法と理論的な背景を学びます。また、学校教育における諸問題を事例と共に取り上げながら、授業や部活指導等における主体的で対話的な学びの方法についても考えを深めます。	清水 稔(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年8月19日	6時間	教諭	小・中・高等学校音楽科教諭	30人
C06	美術	図画工作・美術科の指導法	小・中学校を通して図画工作、美術科の学習指導要領の内容について、系統的に解説します。また、表現と鑑賞領域のそれぞれの内容を講習に取り入れ、実践的に指導法について考察します。主な受講対象者は小・中学校教諭としますが、高校教諭も受講可能です。	蝦名 敦子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年7月20日～ 2019年7月21日	12時間	教諭	小・中学校美術科教諭	20人
C48	美術	デザイン基礎(構成と色彩)	形態と色彩における美の基本を理解し、その法則を用いることで美を作り出す手段を学習します。講習では、シンメトリー、形の対称性、色彩理論、色相配色、水彩絵の具、等を扱います。	佐藤 光輝(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	2019年8月19日～ 2019年8月20日	12時間	教諭	小学校教諭、中学校・高校美術科教諭	30人
C01	保健体育	器械運動の補助方法を学ぶ	学校体育における器械運動種目の中から、マット運動・跳び箱運動・鉄棒運動の3種目の技について、その指導方法や補助方法を学びます。各種目の技についてその運動構造を理解し、実際に行ないます。簡単な補助技術を身につけ、受講者同士で実際に補助活動を行います。 ※実践を交えた演習形式で行います。	清水 紀人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年7月15日	6時間	教諭	幼・小・中・高等学校・特別支援学校教諭(保健体育)	30人
C17	保健体育	ボールゲームの授業づくり	中学校、高校の正課体育ボールゲームの指導力向上を目的に実習します。指導要領ではベースボール型・ゴール型・ネット型と別れて明記されていますが、各領域を網羅して指導することに不安や戸惑いを感じているのではないのでしょうか？本講習では、ボールゲームを「ボール移動ゲーム」と捉え、生徒・児童に主体的な学び及び深い学びを体感・実感させられる授業づくりの指導力向上を図っていきます。また、講習の内容は正課体育担当者だけでなく部活動の指導者にも有益と思います。	益川 満治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年7月29日	6時間	教諭	全教諭(主に保健体育教諭、部活動指導教諭)	30人
C20	保健体育	基本から学ぶ柔道	中学校、高校の正課体育柔道の指導力向上を目的に実習します。指導要領では基本動作とともに「攻防を展開することが技能の目標として示されていますが、現場の先生方には安全上の不安を抱かれているのではないのでしょうか。本講習では、「正しい技術が安全性を向上させる」という理念のもとに、指導者自身のスキルアップを図っていきます。また、講習の内容は正課体育担当者だけでなく部活動の指導者にも有益と思います。	高橋 俊哉(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	2019年7月31日	6時間	教諭	全教諭(主に保健体育教諭、部活動指導教諭)	25人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C44	看護	食べものと放射線	福島第一原子力発電所の事故後、懸念されている食品中の放射性物質に関する正しい知識を学び、「食の安全」をわかりやすく情報発信できるようになることを目的とします。放射線・放射性物質や人体影響についての基礎知識、食品中の放射性物質に関する講義に加え、簡単な計算演習等の実習を通じて、リスクコミュニケーション能力の向上を図ります。	小山内 暢(教育研究院医学系保健科学領域 助教) 對馬 惠(教育研究院医学系保健科学領域 講師) 北島 麻衣子(教育研究院医学系保健科学領域 助教)	弘前市	2019年8月19日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	30人
C49	看護	子どもの急変時の対応	本講習では、学校安全や危機管理の立場から、子どもの身体の健康観察時の基本、子どもや教職員の救急場面における緊急性の判断や初期対応、救急処置について取り上げます。さらに、緊急時の対応について、講義と実習(シミュレーション教育など)を交えて理解を深めます。	藤田 あけみ(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 會津 桂子(教育研究院医学系保健科学領域 講師)	弘前市	2019年8月20日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	40人
C50	看護	メンタルヘルスの理解	本講座では、対人関係におけるコミュニケーションととその過程に焦点をあてながら、心の健康に関する幅広い内容を演習を交えて教授する。 (1)人間の心の健康について、他者と自己の2つの視点から考察することによって、他者理解と自己洞察を深め、メンタルヘルスの理解を目指す。(則包) (2)思春期から高齢期までのメンタルヘルスを脅かす現状を概観し、当事者とサポート側の双方のメンタルヘルスの理解を目指す。(田中)	則包 和也(教育研究院医学系保健科学領域 准教授) 田中 真(教育研究院医学系保健科学領域 助教)	弘前市	2019年8月20日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	40人
C41	看護	放射線の基礎と放射線看護	身の回りの放射線等の放射線に関する基礎と放射線事故・災害、その際の看護活動、医療に使われる放射線、放射線看護について学びます。 ○放射線の基礎(細川) ○放射線事故・災害時の看護活動(野戸) ○放射線治療の日常生活への影響(小倉)	細川 洋一郎(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 野戸 結花(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 小倉 能理子(教育研究院医学系保健科学領域 教授)	弘前市	2019年8月18日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	40人
C51	看護	生活習慣と健康	近年の保健医療において重要課題である生活習慣病についてとりあげ教授します。また、学校生活や家庭生活におけるこどもの生活習慣や感染予防行動に関することを教授します。 ○生活習慣病と予防(漆坂) ○学校生活・家庭生活における生活習慣と感染予防(高橋) ○肥満と運動療法(井瀧)	井瀧 千恵子(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 高橋 徹(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 漆坂 真弓(教育研究院医学系保健科学領域 講師)	弘前市	2019年8月20日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
C54	看護	遊び学習で理解する放射線	放射線に関する初等教育に遊び学習を取り入れ、科学的リテラシーを向上させる。かるたは日本が独自に発展させた室内遊戯であるが、教育ツールとしての側面も期待できる。放射線教育を限られた短い時間で効果的かつ達成感の得られるものにするため、本講習では「放射線かるた」を提案する。「かるた遊び」により放射線への興味・関心を高め、「かるた作成」のための調べ学習を経て、段階的な基礎知識の習得を目指す。	對馬 惠(教育研究院医学系保健科学領域 講師) 小山内 暢(教育研究院医学系保健科学領域 助教)	弘前市	2019年8月23日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	30人
C13	技術・工業・農業	小学校プログラミング教育入門	プログラミングについて全くの初心者の先生向けです。プログラミング教育実施の背景と意義、プログラミング的思考の意味などについて講義を通して理解を深めます。また、実践事例の紹介と複数の小学生向けプログラミングツール(教材)の体験実習・演習を通してプログラミングの基礎的な知識・技能を習得します。講習の最後に、演習で使用する教材を使ったカリキュラムを作成し、発表していただきます。	上之園 哲也(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年7月26日	6時間	教諭	小学校教諭・特別支援学校教諭	12人
C21	技術・工業・農業	技術教育における問題解決的な学習	ものづくりを伴う学習やプログラミング学習などにおける問題解決的な学習指導の考え方と方法について、プログラムによる計測制御学習の実践事例をもとに講義・演習を行う。具体的には問題解決的な学習の理論と技術的問題解決を促すための生徒へのアプローチや題材設定の在り方、また、技術教育におけるアクティブラーニングの捉え方についての講義を基礎に、実践事例の検討と課題実習を行う。また、基礎理論と課題実習の体験を踏まえ、受講者自身の実践を振り返り、講習の成果と課題をまとめ、発表する。	上之園 哲也(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年8月2日	6時間	教諭	小学校教諭・中学校(技術科担当教員)・高校工業科教諭	8人
C22	技術・工業・農業	医用機器開発と理数系教育	工学分野において進展する医用システム開発の取組について、オムニバスで解説します。弘前大学における医工連携研究開発の状況、光を使ったバイオ医療応用や超音波による骨密度計測、連続流血液ポンプの数値設計、医療現場での仮想現実(VR)技術の応用などの取組の概要を高校までの学習と関連付けて紹介するとともに、高校生の進路計画や学習意欲向上の指導に資する話題として提供します。	矢野 哲也(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 准教授) 齊藤 玄敏(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 准教授) 陳 暁帥(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 助教) 稲田 シュンコ アルバーノ(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 助教)	弘前市	2019年8月2日	6時間	教諭	工業高校教諭、理数系教科担当中学校・高校教諭	20人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C25	技術・工業・農業	【選択】マイコンで学ぶ計測と制御	マイコン(Arduino)を使用してデータの入出力の実験を行います。いろいろなセンサ(光、音、温度、放射線など)からの信号を処理・表示できます。単純な直流モータからサーボモータまでの制御もできます。これら(計測と制御)を組みあわせればメカトロニクスシステムが作れます。実際の移動ロボットシステム等について最近の研究成果を紹介します。	竹岡 年延(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 助教) 長井 力(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 助教)	弘前市	2019年8月3日	6時間	教諭	工業高校教諭および中学校、高等学校の理科及び技術の教諭	10人
C26	技術・工業・農業	藍の栽培と生葉染め	津軽地方では藍染めが古くから行われてきたが、産業として行われてきた藍染めをそのまま学校教育の現場で実践することは難しい。そこで学校教育現場で活用が可能な、藍の生葉染(2種類)、絞り染め、紅花との重ね染め(二藍(ふたあい))を紹介、実習する。またアイの栽培方法について紹介する。実習で染色した繊維(ハンカチーフ)・アイの種子と苗をお持ち帰りいただく。作業着・ビニル手袋・苗の持ち帰り袋を持参。	勝川 健三(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	2019年8月3日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	10人
C33	技術・工業・農業	実験とシミュレーションで見る身の回りの流れの不思議	私たちの生活と密接に関わっている水や空気の流れを実験とコンピューターシミュレーションによって可視化し、現象を理解することに重点を置きます。対象とする現象は、カーブボール、乗り物の抵抗、風や雨の音、炭酸飲料水の泡など、流体力学を学んでいない小・中・高校生にも興味深い内容になっています。身の回りの流体力学を学ぶことにより、理数系科目の教育において発展的課題を提供することにつながり、学生の学習意欲の向上に役立ちます。	城田 農(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 准教授) 矢野 哲也(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 准教授)	弘前市	2019年8月5日	6時間	教諭	理数系教科担当小学校・中学校・高校教諭、工業高校教諭	10人
C38	技術・工業・農業	植物の病気と防御反応	農作物の病害発生の原因となる菌類、細菌類、ウイルス・ウイロイドなど様々な植物病原体の感染に対抗して植物はどのようにして身を守ろうとするのか。植物の防御反応をテーマに、植物に予備的に備わった防御及び病原体の侵入で誘導される防御機構の基礎を知り、病原体の侵入・感染から発病に至るまでの過程で見られる病原体と宿主の相互作用・抵抗性現象に関する基本的な概念を理解する。	佐野 輝男(教育研究院自然科学系農学・生命領域 教授)	弘前市	2019年8月9日	6時間	教諭	中学校・高等学校理科教諭	10人
C45	技術・工業・農業	人と関わるメカトロニクス技術	計測制御技術は、産業界の他、医療分野でも実用化されていますが、そこには数学物理を基礎とした機械工学や電子情報工学のほか、人間の特性を扱う解剖学や心理学など、多様な分野の知識が必要とされます。本講習では、それらの知識を融合して研究開発された自動採血ロボットや慣性センサ式モーションキャプチャシステムなどについて、数学や物理の知識と関連づけて研究内容を解説します。	佐川 貢一(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 教授)	弘前市	2019年8月19日	6時間	教諭	中学校・高等学校数学・理科・技術家庭教諭、工業高校教諭	10人
C53	技術・工業・農業	レーザーを使った光学の基礎と応用	「光」は、産業はもちろんのこと、医療や農業など様々な分野において利用されています。よって、本講習では、光や、光を操る光学部品の基礎について解説し、レーザーを使った実験を体験することで、弘前大学で行われている光学関連の取組の概要を、高校までの学習と関連付けて紹介するとともに、高校生の進路計画や学習意欲向上の指導に資する話題として提供し、生徒の理数分野への進学促進に役立てます。	花田 修賢(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 教授)	弘前市	2019年8月21日	6時間	教諭	工業高校教諭、理数系教科担当中学校・高校教諭	20人
C03	家庭	家庭生活の変容と授業づくり	小・中・高等学校における家庭科学習の現状を踏まえ、家庭生活の変容について把握する。また家庭科学習における各学習領域の基礎・基本を押さえると共に、発展的な内容も取り扱い、授業作りに結びつけることを目指す。	李 秀眞(教育研究院人文社会・教育学系社会科学領域 准教授) 北原 啓司(教育研究院戦略的融合領域 教授) 安川 あけみ(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 小野 恭子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年7月20日～ 2019年7月21日	12時間	教諭	小学校教諭、中・高等学校教諭(家庭科)	20人
C02	英語	英米文学読解と教材化の提案	英米文学作品(短編小説)を原書で読むことで言語読解力と異文化理解の促進を目指す。また、実際に読んだ作品の、中・高等学校教育現場における教材化の可能性について考える。	土屋 陽子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年7月20日	6時間	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	30人
C40	英語	英語多読方法とその実践	近年『多読多読マガジン』が発行されるなど、多読による英語教育が多くの現場で実施されている。英語多読の効果はすでに実証済みではあるが、その実践方法などは多様化しており、学校での展開の仕方などまだ未知のところがある。この講習では、具体的な実践例などを参照しながら、英語多読の方法と多読教材選びについて学びます。本講習は英語科教諭以外も対象とします。	小野寺 進(教育研究院人文社会・教育学系人文科学領域 准教授)	弘前市	2019年8月18日	6時間	教諭	小学校教諭、中学・高校英語科教諭	30人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C55	英語	授業に生かす英語教育学	様々な指導法や学習活動が提案され続ける英語授業について、①歴史的な流れを振り返る。②それぞれのねらいと長所や短所を考察する。③演習として実際に授業を組み立ててみる。以上の3つのことを通して考察します。また、技能統合やアクティブラーニングについて、参加者全体でのディスカッションを通して理解を深めます。	佐藤 剛(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	2019年8月24日	6時間	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	30人
C34	養護教諭	養護教諭実践の再確認とこれから(1)	学校全体で児童生徒からの様々な健康・安全上の問題を解決するため、専門職としての養護教諭に求められる以下のようなテーマを取り上げる。 1. 学習指導要領の改訂とこれからの教育内容について考える。 2. 現代的健康課題を抱える子供たちへの支援事例を通して、養護教諭の健康相談における新しい視座を学ぶ。	新谷 ますみ(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 原 郁水(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 小林 央美(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年8月5日	6時間	教諭 養護教諭	養護教諭・養護教諭免許をお持ちの教諭	30人
C36	養護教諭	養護教諭実践の再確認とこれから(2)	学校全体で子ども達や教職員の様々な健康・安全上の問題を解決するために、専門職としての養護教諭に求められる以下のようなテーマを取り上げます。 1. 事例を活用し、フィジカルアセスメントの基本技術であるバイタルサイン観察の知識・技術を再確認し、さらなる向上を目指した講義・実習・演習を展開する。 2. ①衛生管理者になる可能性のある養護教諭が、労働安全衛生法による教職員の健康管理を考える。 ②保健指導に使える簡単な実験を経験してみる。	葛西 敦子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 太田 誠耕(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	2019年8月6日	6時間	教諭 養護教諭	養護教諭・養護教諭免許をお持ちの教諭	30人
C37	養護教諭	養護教諭実践の再確認とこれから(3)	学校全体で子ども達や教職員の様々な健康・安全上の問題を解決するために、専門職としての養護教諭に求められる以下のようなテーマを取り上げる。 ○様々な健康課題の基本となる近年の子どもの発育が環境からどのように影響をうけているのか考える。 ○最近の子どもの性の実態を講述し、今後の性教育のあり方を考える。 ○疾患を有する児童生徒の管理と支援:学校で気をつけて欲しい児童生徒の病気	小玉 正志(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 田中 完(教育研究院医学系臨床医学領域 教授)	弘前市	2019年8月7日	6時間	教諭 養護教諭	養護教諭・養護教諭免許をお持ちの教諭	30人
C23	特別支援	特別支援学校等における指導の実際	本時では、特別支援学校における実践・教諭の授業力向上を企図している。具体的には、主として弘前大学教育学部附属特別支援学校で取り組んでいる研究及び事業(スポーツ推進、キャリア・就労支援)等を取り上げながら、現在特別支援学校に求められている実践的課題について考察する。	天海 丈久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 相馬 力(弘前大学教育学部非常勤講師) 棚内 伸子(弘前大学教育学部非常勤講師) 加賀谷 紀(弘前大学教育学部非常勤講師) 中嶋 美樹(弘前大学教育学部非常勤講師)	弘前市	2019年8月2日	6時間	教諭 養護教諭	特別支援学校の教諭・養護教諭	30人
C47	特別支援	特別支援学校における重複障害の子供の教育課程	特別支援学校における重複障害の子供の教育課程のうち、「特別支援学校(知的障害)教科代替の教育課程」と「自立活動を主とした教育課程」について、新しい特別支援学校小学部・中学部学習指導要領等を参照・解説しながら、児童生徒の障害の状況や発達の段階に即した教育課程編成の在り方を考察します。またその際、教育課程編成の要となる自立活動の教育課程上の位置づけについても言及します。	天海 丈久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	2019年8月19日	6時間	教諭 養護教諭	特別支援学校の教諭・養護教諭	40人
C56	特別支援	特別な支援を要する幼児の保育	本時においては、特別な支援を要する幼児の保育についての諸議論を紹介する。なかでも、支援者の資質や「燃え尽き」、スポーツ・身体活動、保育環境設定の観点から、それぞれ今後の保育支援につながる示唆を得ようとするものである。保育・幼児期の教育をテーマにする関係上、主な受講対象者は乳幼児の保育に直接関係する者(幼保連携型認定こども園保育教諭や幼稚園教諭、特別支援学校幼稚部など)に合わせた内容とする。	増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 松浦 淳(青森中央短期大学 講師) 時本 英知(青森中央短期大学 准教授)	弘前市	2019年8月24日	6時間	教諭	保育教諭、幼稚園教諭	80人
C14	特別活動	特別活動(小学校編)	人のつながりの中で、不安や葛藤をのりこえ、次の第一歩を踏み出す児童生徒を育てるために、特別活動の再構築が強く求められている。自己責任だけが一人歩きしている現状を見直し、スキルやマインドに依存しない集団作りを、実践的な演習を通して考察を深める。結果として学力をおしあげ、いじめや不登校のおきにくい学級、授業集団、学年・学校集団を育てる四本の柱を確かめる。	山科 實(弘前大学教育学部特任助教)	弘前市	2019年7月26日	6時間	教諭	小学校教諭	50人
C19	特別活動	特別活動(中学校・高等学校編)	人のつながりの中で、不安や葛藤をのりこえ、次の一歩を踏み出す児童生徒を育てるために、特別活動の再構築が強く求められている。自己責任だけが一人歩きしている現状を見直し、スキルやマインドに依存しない集団作りを、実践的な演習を通して考察を深める。結果として学力をおしあげ、いじめや不登校のおきにくい学級、授業集団、学年・学校集団を育てる四本の柱を確かめる。	山科 實(弘前大学教育学部特任助教)	弘前市	2019年7月30日	6時間	教諭	中学校・高等学校教諭	50人



講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C52	幼児教育	乳幼児保育の現在と課題	本時においては、乳幼児保育の現状と課題についての講義(一部演習含む)を行う。なかでも、“気になる”子どもをめぐる保育や、幼小連携・接続をはじめとする保育の歴史・制度的課題、保育内容「言葉」にまつわる諸議論について主に扱い、今後の保育・幼児期の教育の展望を考察する。保育・幼児期の教育をテーマにする関係上、主な受講対象者は幼保連携型認定こども園保育教諭や幼稚園教諭(特別支援学校幼稚園を含む)等、保育・幼児期の教育に直接関係する者を念頭におく。	増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 武内 裕明(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 畑山 朗詠(青森中央短期大学 助手)	弘前市	2019年8月20日	6時間	教諭	保育教諭、幼稚園教諭	50人
C10	栄養教諭	脳の栄養、筋肉の栄養、そして予防医学の栄養	子どもの栄養から大人の健康はつくられる。脳の発育期にある子どもへの栄養は重要である。また、体力づくりの要となる骨格筋の発達にも十分な栄養が欠かせない。子どもの健やかな成長と発育に必要な栄養とは何か、予防医学の観点から病気になるための栄養とは何か、いつ・何を・どのように食べればよいかについて知識を深め、今後の食育のあり方を考察する。	加藤 秀夫(東北女子大学 家政学部 学部長・教授) 西田 由香(東北女子大学 家政学部 教授) 今村 麻里子(東北女子大学 家政学部 准教授) 前田 朝美(東北女子大学 家政学部 准教授) 妹尾 良子(東北女子大学 家政学部 准教授) 出口 佳奈絵(東北女子大学 家政学部 講師) 白戸 里佳(東北女子大学 家政学部 講師)	弘前市	2019年7月25日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	栄養教諭、養護教諭、小・中・高等学校教諭、学校栄養職員等	160人